HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355 事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355 例会日 毎週木曜日 12 時 30 分~13 時 30 分 会長 鈴木和夫 幹事 山谷洋子 会報・雑誌・IT 委員長 原恵美子



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021 年~2022 年度国際ロータリー会長 シェカール・メータ

第1786回 2022年5月19日(木) 《週報》

秦野名水ロータリークラブ 秦野商工会議所18:00

- 1. 点 鐘
- 2. 合 唱 「我等の生業」
- 3. お客様の紹介
- 4. 会長の時間



- ○皆様こんばんは。今年度・前年度を含みまして、夜間例会はほとんどなかったように思います。本日第7Gのガバナー補佐主催の親睦ゴルフコンペが開催されました。それにより夜間例会に変更させて頂きました。よろしくお願い致します。
- ○先週の第11回理事会の決議報告をさせて頂きます。
- (1)納会について

日 時 : 6月30日(木)18時~

場 所 : チャイナガーデン

費用: クラブの予算の範囲内で行う

参加者 : 会員及び配偶者・事務局・書記・米山奨学生(ミント・ヒマーシ)

決定

(2) ハイブリット例会継続について

5月19日(木)から6月30日(木)までの例会はハイブリット例会中止し 通常例会とする。 決定

○「顧客と人」を育てる知恵の言葉

ウォルマート創業者、サム・ウォルトン・・私たちが1ドルを浪費すれば、 それはお客の懐に直接ひびく

★顧客サービスは「そこまでやるか」くらい徹底するとちょうどいい 「お客様第一」は単なるかけ声ではなく、具体的な行動で示さなければなら ない。それも地道な部分であるほど徹底すべきだ。

1つの見本が、売上4000億ドルを誇る世界最大の小売業ウォルマートだ。ウォルマートの成功を支えたのは、EDLPつまり(毎日が安売り)

という徹底した低価格戦略だ。

創業者サム・ウォルトンは 1945 年にバラエティーストアーを始め、やがて大きなディスカウントストアーをつくろうと思い立つ。こうして 62 年に開いたのがウォルマートの 1 号店だった。

コンセプトは商品を安く提供し、顧客に満足を保証することと、徹底した 経費削減による利益を顧客に還元する事だ。

たとえば定価 2 ドルの品を 50 セントという安値で仕入れられた場合。50 セントに 30%を上乗せした 65 セントで売る。それ以上の価格づけを許さなかった。ウォルマートがいい買い物をした時には、お客にもいい買い物をしてもらおうと心がけたのだ。

★大企業だと考えた瞬間が「終わりの始まり」

店は順調に成長したが、どれほど大きくなろうとも変わらなかったのが、ウォルトンの1ドルを大切にする姿勢だった。「私たちの使命はお客に価値を提供する事だが、その価値には品質やサービスばかりでなく、お客の支出を節約することも含まれる。ウォルマートが1ドル浪費すれば、それはお客の懐に直接響くのである」と言い、逆に1ドル節約するたびに、ライバルに1歩先んじることになると考えた。

ウォルトン自身も厳しく節約していた。1985 年、ウォルトンは経済誌『フォーブス』に「全米一の金持ち」と報じられたが、生活は質素そのものだった。ウォルマートのロゴ入りの野球帽子をかぶり、古ぼけた小型トラックを運転していた。仕事で旅行に行く際にはビジネスホテルの相部屋に泊り食事はファミリーレストランですませた。社用ジェット機を買ったのも年商が400億ドルを超えてからだ。

ウォルトンは、ウォルマートが大企業なのは1店1店で日々努力している成果だと絶えず強調した。1店1店のことを忘れ、ウチは大企業だと考えた瞬間に「終わりの始まり」が来ると考えていた。「贅沢にとらわれると、最も大事なこと、つまりお客に仕えることに集中できなくなる」と言い続けたウォルトン。彼が亡くなったのは92年。ウォルマートの売上は500億ドルを超えるまでになっていた。

★リーダーズ・アドバイス

ウォルトンは「お客に奉仕する者、またそうする人々をサポートする者以外 わが社は必要としない」とも言っている。儲けるのは顧客に還元するためだ という徹底したお客様第一の精神がここにある。

5. 幹事報告

【ガバナー事務所より】

①【資料配信】次年度クラブ幹事研修資料(クラブセントラル編)

【受付文書】

- ①令和4年度秦野市桜の植樹推進実行委員会の開催について(通知)
- ②MOA 美術館秦野児童作品展開催の中止について

【例会変更】⇒無し

【本日の配布物】⇒無し

6. 記念日

- ・入 会 記 念 日
- •会社創業記念日
- 御結婚記念日
- ・御誕生記念日(会 員)

(配偶者)

7. スマイル報告

○鈴木和夫さん「本日は第7G親睦ゴルフコンペの為、夜間例会とさせて頂きました。今日は、好天気に恵まれ気持ちの良いラウンドが出来ました。ゴルフ同好会のメンバー様、お手伝いの3名の方お疲れ様でした。因みに2位(準優勝)山本さん、3位に鈴木が入りました。スマイルします!」



- ○山谷洋子さん「親睦ゴルフコンペは名水の方大変 ガンバッテいらっしゃいました。いろいろな賞を頂きスゴイです!!」
- ○北村まり子さん「本日はお疲れ様でした。」
- ○古谷スミ子さん「第7グループ親睦ゴルフお疲れ様でした。心地良い汗をかかれた皆さん、応援した皆さん、お疲れ様でした。ゴルフ場に1日居たのは、はじめての事でした。」
- ○大屋富茂さん「本日の第7G親睦ゴルフコンペ 皆様のご協力のお陰様にて無事終了する事が出来ました。同好会及び、山谷、古谷、北村会員にはお世話になりました。」
- ○神崎達朗さん「本日のゴルフコンペはブービー賞でした。」
- ○桐山晃忠さん「スマイルします。ゴルフは無理となりました。」
- ○原恵美子さん「毎日田植の準備に追われています。水につけたもみ種のかおり、水 にしめった土のかおりそのうちに始まる、カエル達の大合唱、楽しみです。」
- ○原郁夫さん「鈴木会長・山谷幹事・大屋さん・神崎さんご苦労様でした。」
- ○東島礼美さん「諸星さん、卓話楽しみにして参りました。」
- ○福原美千加さん「本日のゴルフメンバーにもめぐまれ、15位でした。実際のスコアは、ダメダメでしたが・・・お手伝い下さいました、まり子さん・古谷さん・山谷さんほんとうにありがとうございました。」
- ○諸星利男さん「卓話を仰せつかり、多少気が重くもあり光栄です。頑張ります。」
- ○山本裕宣さん「本日のガバナー補佐杯でなんと、準優勝とベスグロドラコン賞まで いただきました。 道治さん話したくないでしょうがすみません。」
- ○諸星道治さん「第7G親睦ゴルフコンペお疲れ様でした。手伝って頂いた、古谷さん、山谷さん、北村さん一日お付き合い有難うございました。今回は参加賞賭けです。集中したゴルフできませんでした。神崎さんブービー賞間違ってすみませんでした。」 <u>合計40,000円</u>

8. 出席報告

○会員数 15名、○会員義務 15名、○出席数 14名、○出席率 93%

- 9. 地区委員会報告
- 10. 委員会及びその他の報告



- ○古谷スミ子さん
 - ★皆さんにお礼を申し上げたいと思います。
 - ・長い間応援をして頂きました、MOA美術館秦野児童 作品展が今年で終了させていただきたいというお知 らせです。30年以上続けて来ましたが、ここ2年 開催することが出来ませんでした。長い間大変有難う ございました。

11. 卓話 諸星利男さん

- ○筆記(書く事)の歴史についてお話したいと思います。
 - ・今年大学を定年になりまして、10年目になります この10年前から企画はしていましたが、真鶴半島 にセカンドハウスを作りました。

そこにコレクションを展示したいなと準備をして おりました。



記しの歴史 <絵画の歴史> ラスコー洞窟(仏): 2万年前 クロマニヨンのよる



スペインの洞窟: 6.5万年前(ネアンデルタール人)に

○人が何か記録を残すという事は、いろいろな考えがあると思いますが、フランスのラスコーの洞窟に壁画があった。2万年前にクロマニョンによる物とされておりましたが、さらに前にスペインの洞窟、6.5万年前にたぶんネアンデルタール人により書かれた物の様です。

- ・実際これは、字なのか絵なのかわからないですが、字であろうという記録であれば、パピルスに書かれているヒログリフ文字みたいなものから想像すれば、2000年以上前に記載されてきた。
- ・誰が書いていたか、一般庶民は書く必要がなかった。特殊な教育を受けた人達だけだった。日本でもヨーロッパでも同じで、実際字を書くという行為は高官や聖職者に限られていた。
 - 例)鎌倉殿の13人は読み書きが出来たのか? 公家の存在が大きかった 江戸時代 庶民の識字率は極めて高かった・・・・ 寺子屋の存在があり一般庶民が読み書きができた、 特殊な事情です。ヨーロッパにはこんな国はなかった こんな世界は世の中にはなかった。
 - ・欧米で識字率がたかくなったのは、英国で産業革命の後 中産階級が増えた、いわゆる小金持ちが増えると立派な 邸宅を構えて、書斎を設け大きな机を置く、その机の上 に何を置くかというと、インク壺のような物を飾った。





このようなインク壺を造ったのがイギリス。透明なガラスクリスタルを発見した。それまでのトップはベネチアでした。中産階級は王室が持っているようなものが欲しかった。文具に求められたのは富と教養の象徴、古典芸術(ロココ調)から新しい芸術への移行(アールヌーボー・アールデコ)

・庶民がこのようなものを使うようになったのは、18世紀になって産業革命が起こった後から我々の若い頃まで、我々はボールペンしか使わない、ましては今はパソコンしか使わない、サインくらいです。このインクビンの歴史はたった200年。ボールペンは第2次世界大戦の時に飛行機や船で、気圧が変わったり、さかさまになったりすると万年筆では書けないという事で、ボールペンを作ったと聞いています。この2世紀の間に栄えた国は、ヨーロッパとアメリカと日本だけです。他にはないです。今は圧倒的に中国です。中産階級が増えています。





※インク瓶美術館